

## 「見立てる」 学習の進め方

〈学習のめあて〉 文章の要旨をとらえて、自分の考えをまとめよう。

(1) 要旨をとらえよう

☆要旨とは：46ページの下の段を見よう

①「見立てる」の文章の「キーワード」を見つけます。(ヒント：漢字で三文字)

まずは、文章をしっかりと読んで、内容を理解することが大切です。音読するとより理解できます。 😊

② 要旨をとらえるには、「キーワード」が出てくる言葉を中心にみていくとわかりやすくなります。

「たがいに関係のない二つを結び付けるとき、そこには**想像力**が働いている」

「見立てる」という行為は、「**想像力**に支えられている」

「**想像力**は、わたしたちを育んでくれた自然や生活と深くかかわっているのだ。」

③ この→文を柱にして、要旨をまとめるとよいです。

(例) わたしたちは、あやとりで作った形を「あみ」「田んぼ」というように、何かを別のものに見立てるといふことをしている。たがいに関係ないものを結び付けるとき、そこには**想像力**が働いている。見立てるといふ行為は、**想像力**に支えられている。**想像力**は、その人が育ってきた自然や生活と深く関わっている。

(2) 筆者の考えをさぐってみよう

「想像力」が大切ということ：かな？

「想像力」があると、「見立てる」ことができる。それができるとどうしていいの？

(3) 自分の考えをもとう

例えば、先生だったらこう考えました。

ものの形やようすをだれかに伝えるとき、「○○みたいな」「○○って感じの・・」というように、何かにたとえて伝えることがあります。例えば、みなとみらいにあるおもしろい形のホテル。あれをわたしは「ゆでたまごの形」と思っていました。他の人に「あれはメロンを切った形じゃないの。」と言われました。「ええーそうかなあ」と思いましたが、そう言われればそうかもと納得できました。

いろいろな人の見方を知ること、**「なるほど。そういう考えもあるのか。」**と気が付き、考えや想像力がふくらんでいきます。そして、「ゆでたまご」で伝わらなければ、「メロンを切った形だよ」「ラグビーボールにってるよ」などといういろいろな表現で伝え、相手にわかってもらうことができます。

「○○みたいだな」と見立てることは、想像力を豊かにすることもありますが、自分なりの表現をして伝え合うときに役立ちそうだなと思いました。

やってみよう

(ノートに書きまわしよう。)

(1) 「見立てる」の要旨をわとめよう。

(2) 自分の考えを書いてみよう。